



●編集・発行／佐用町立図書館 開館時間10：00～18：00
すべての町民の暮らしを応援します 〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地（さよう文化情報センター内）
Tel：0790-82-0874 Fax：0790-82-0313 E-Mail：toshokantown.sayo.lg.jp

Book Review

司書おすすめの一冊

『世界へ飛び出た100人の日本人』

おか けいじゅん／聞き手（集英社インターナショナル）2026年

外務省の統計によると、海外に3か月以上滞在している邦人は129万人を超える（2025年10月時点）。人口の約1%にあたる人々は、なぜ日本を飛び出し、どのように現地で生活を築いているのか。本書は、世界100の国と地域に暮らす100人の日本人へのインタビューを収録している。

登場する人々の背景は実に多彩だ。たとえば、銀行員やフレンチシェフを経て、食に関する事業を手がけていた男性は、アフリカ産の食材に魅力を感じてガーナへ渡った。小規模農家の収入向上を目指して試行錯誤を重ね、養鶏と唐揚げ販売を行う事業を展開している。また別の女性は、趣味で考古学を学びながら20年に及ぶ家族の介護を終え、休暇先のエジプトで発掘調査のアシスタントに抜擢された。10年経った今では、日本とエジプトをつなぐコンサル会社を営んでいる。

彼らが語る現地の日常は、日本で暮らす私たちの常識と大きく異なる。ブータンでは子どもたちがヒッチハイクで通学し、村全体が家族のように助け合う。クック諸島には島と村の名前以外に住所の概念がない。イスラム圏では成功も失敗も「神の意志」と受け止め、何事も軽やかに切り抜ける。

百人百様の生き方に触れることで、世界の広さと人生の可能性を実感できる。人生の選択肢はもっと多様でいい。本書はそんな気づきとともに、自分の心の声に従う勇気を与えてくれる、一步を踏み出したい人へ贈る百通りの物語である。（末谷）

「シリーズ図書館探検 番外編 移動図書館」



昨年度、佐用町立図書館に導入された移動図書館車両での本の訪問貸出が始まりました。利用者さんが手に取って借りる本を選べます。黄色い車両のボディに描かれている、読書や佐用町にちなんだイラストは、町内の小中学生がデザインしてくれたものです。



福祉施設での貸出の様子。車には約500冊の本が載せられます。

今後、保育園や小学校など、活動の幅をひろげていく予定です。

●わらべうた講座 親子であそぶ わらべうた



韻をふんだ言葉やふしまわしから日本語のもつリズムを楽しむ「わらべうた」で遊びましょう♪祖父母とお孫さんの参加も大歓迎です。

講師：脇本幸子さん

（岡山わらべうたの会）

日時：8月29日（土）

13：30～14：30頃

10：30～11：30頃

対象：0～6歳のこどもと保護者

参加費：無料

定員：20組程度



↑申込フォーム

申込：Web・窓口・電話で受付

『西風のくれた鍵』

アリソン・アトリー／作
石井 桃子、中川 李枝子／訳
(岩波書店) 2001年 新版

スパイス売りのそのおばあさんは南の島の甘い香りを身にまとい「ナツメグに、シナモン、ジンジャーにキャラウェイ…さあ買いにおいで」と歌いながら一年に一度大通りにやってきます。王様の台所で働くコック見習い娘のベツシーは、コック長のダンブルドア夫人からケーキにいれるナツメグを買ってくるように言いつけられ、おばあさんの所へと向かいました。丁寧に話しかけ、会釈するベツシーに、おばあさんは緑色のナツメグの一つ大切にしまっておくようにとくれました。ベツシーほどやさしい娘に会ったことがなかったおばあさんは、次の年にはシナモンの緑の枝を、その次の年には緑のジンジャーの根をくれました。

一方、ベツシーは、年ごとに怒りっぽくなるダンブルドア夫人からどんなに働いても叱りつけられたり、平手で打たれたり辛い日々を過ごしていました。とうとう暇を出されて貧しい村へ帰ったベツシーが、おばあさんからもらったスパイスを庭に植えてみると、それは2、3日で芽を出し、花芽をつけ、ひと月のうちに大木になって世にも美しい花を咲かせました。(「幻のスパイス売り」)

この他、コケモモつみにいった男の子が妖精のスカーフを見つけて幸運を手に入れる話や北風が命を吹き込んだ雪むすめの話など、人間と妖精、魔法が入り混じった不思議な物語が6話収められています。(蔭木)

『おばけのジョージ』

ロバート・ブライト／作・絵
光吉 夏弥／訳
(福音館書店)1978年

小さいおばけのジョージは、ホイットィカーさんの小さな家に住んでいて、毎晩同じ時間に階段をみしり、広間のドアをギーと鳴らします。その音で、ホイットィカーさんと奥さんは寝る時間、ねこのハーマンはねずみを探しまわる、ふくろうのオリバーは目をさます時間だとわかりました。

ある日、ホイットィカーさんが階段のゆるんだ板にくぎを打ち、ドアのちょう番に油をさすと音が鳴らなくなりました。すると、皆は時間がわからなくなり、うかないジョージはおばけが住むのにいい家を探しに出ました。やっと見つけたところは、気味が悪いグロームズさんの家でした。ジョージは牛小屋へ逃げますが、め牛は相手にしてくれず、長雨で湿り雪の寒さがひどくて、居心地が悪くゆかいではありませんでした。そのうち日が経ち、雨と雪でホイットィカーさんの家の階段とドアから音が出るようになったことに気づいたハーマンが、オリバーへと知らせます。

小さなおばけの小さな冒険が、濃紺の細く柔らかい線で描かれています。オリバーから知らせを聞いたジョージが、全速力で飛んで帰り、また同じ時間に嬉しそうに音を鳴らす姿や、皆が再び時間が分かるようになって安心する様子に満足します。(馬場)

●夏の自習スペースの開設

酷暑の夏、さよう文化情報センター会議室1の空きを利用して自習スペースを設けます。会議室の利用状況により開設日時は変更するため、ご利用の方は図書館HPでご確認ください。なお、各支所図書コーナーは、通年自習スペースとして利用いただけます。ご活用ください。

●ちょっぴりこわいおはなし会

夏にぴったりのこわいおはなしや絵本を楽しみませんか？

日 時：8月2日(日) 10:30～11:15

対 象：小学生(年長・保護者可) 先着15名

申 込：Web・窓口・電話で受付



↑申込フォーム

●夏の読書におすすめ 対象年齢別ブックリスト

①1～3年生向け ②4～6年生向け ③中学生向け

町内の小・中学校で配布します。リストは図書館HPでも見られます。

おはなし会

★あそびせ隊おはなし会

・幼児・小学生と保護者
・毎週土曜日/14:00～14:30

★えほんの会(2～4歳と保護者)

・毎週日曜日/10:30～11:00
7月のえほん

『こぐまちゃんのみずあそび』

ほか

★おはなし会(5歳～小学生)

・毎週日曜日/11:00～11:30
7月のおはなし

「ちいちゃい ちいちゃい」

場 所：おはなしコーナー

申 込：不要

